



**RIMD**  
Research Institute for  
Microbial Diseases  
大阪大学微生物病研究所

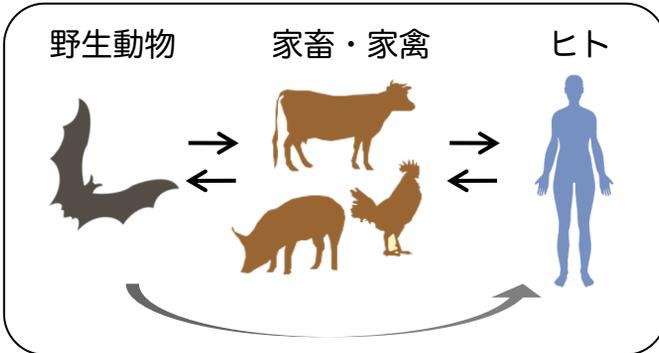
# 分子ウイルス分野 Watanabe Lab



渡辺登喜子

ウイルスはタンパク質の殻と核酸から構成される非常にシンプルで微小な構造体です。そんな小さな存在であるウイルスですが、時にはパンデミックを引き起こし、世界を大混乱に陥れるほどの強大な影響力を発揮することがあります。分子ウイルス分野では、インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスといった人獣共通感染症を引き起こすウイルスに着目し、ウイルスがどのように動物からヒトへと伝播するのか、どうやって病気を起こすのかなどのメカニズムを解明すべく研究を進めています。広い視点を持って研究を進め、得られた知見を国内外の感染症対策に役立てることを目指します。

## ❖ 人獣共通感染症を引き起こすウイルスの研究



### 【人獣共通感染症】

- 脊椎動物とヒトとの間で自然に伝播しうるすべての病気あるいは感染症
- ヒトに感染する病原体のうち約60%が人獣共通感染症を引き起こす
- 国際的に解決すべき重要課題

インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス、エボラウイルスなど

## ❖ 主な研究内容

- ❑ インフルエンザウイルスの病原性発現メカニズムの解析
- ❑ 新型コロナウイルスの性状解析
- ❑ ウイルス感染症に対するワクチンの開発研究
- ❑ 国内外の野生動物におけるウイルス感染症の調査研究
- ❑ 自然界に存在する新規ウイルスの探索



広い視点を持って研究を進め、研究から得られた知見を国内外の感染症対策に役立てる



私たちと一緒にウイルス研究をしてみませんか？  
渡辺登喜子 ([tokikow@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:tokikow@biken.osaka-u.ac.jp))  
←ラボHPへGo！